学校番号	１２０１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説世界史』（山川出版社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇世界の歴史を古代から近世まで勉強します。特に時代ごとの横のつながりを意識し、歴史事象が他の地域に与えた影響について考察していきます。また、地域ごとの縦のつながりを意識することで、自分たちが生活している時代との結びつきを考えていきます。
〇学習の中で、映像や画像などの諸資料を多く用います。それらの諸資料を正しく理解し、考察することで歴史的な思考力を養います。
〇講義だけでなく、他者と協力しながら課題を解決する。自分で調べて問題を解決する。また、自分の意見や考えを文章で表現したり、発表する機会を多く設けます。

2　学習の到達目標

世界の歴史の流れと展開を様々な資料に基づき地理的条件や他の地域の歴史と関連付けながら理解させ，文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ある場所での出来事が他の地域にどのような影響をあたえたのか、物や文化が伝わる過程でどのように変化したのかを自然環境や世界各地の風俗から考えようとしている。	自然環境の変化への対応や、文化の伝播の過程で影響を与えた交流の歴史、文化や物が大衆化していく過程、産業の開始や発展の過程を多角的に考察し、判断した課程や結果を適切に表現している。	自然環境や伝染病などの歴史から、これから起こりうる危機を考察したり、世界各地で行われる祭礼や宗教の意義を、適切な資料を活用してまとめたり、発表したりする。	社会情勢や自然環境の制約の中でどのように適応してきたのかを考察し地理的視点を養う。 ある地域と世界の関わりから異文化理解の重要性を理解し、知識として身につけている。
評価方法	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。考査は年５回実施します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史への扉	世界史を学ぶにあたって、自身の生活と世界史で学ぶ内容が密接に関連していることに気づく。（気候変動・祭礼・年中行事・音楽など）	○	○	○		a: 自然環境や伝統的な祭礼、行事と人類の関わりを地理的視点に立って考察することを通して，世界史学習に意欲を持って取り組むことができる。 b: 日本史と世界史の関連や交流の歴史的な意義を主体的に考察し，文章にまとめることができる。 c：自然の脅威や伝染病の拡大といった歴史や，これから起こりうる危機を考察した結果をレポートなどにまとめたり，発表したりすることができる。 d:世界史学習における地理的視点の重要性を探究することができる。日本と世界の歴史的つながりを考察することにより，世界史学習における異文化理解の重要性を理解することができる。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題
	先史の世界	人類が自然環境に適応しながら進化し，農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に，人類と言語の分化を理解する。		○		○	a:人類の進化とその特徴について，関心を持って学習することができる。文明の特徴を理解し，人種や民族，語族といった概念を関心を持って学習することができる。 b: 人類の進化の過程，農耕・牧畜の開始の意義などを，多角的に考察し，文章にまとめることができる。人種や民族といった分類を，偏見なく客観的に判断することができる。 c：教科書に掲載されている進化図や道具図，洞穴絵画などの図版や写真を適切に活用することができる。 d:人類の進化，文明の成立，人類と言語の分化に関する基本的な知識を理解することができる。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

	古代の世界	諸地域の地理的特質を把握し、文明の成立過程、国家形成の過程、衰退の過程を理解する。 （オリエント世界・ギリシア世界・ローマ世界・南北アメリカ・インド・東南アジア・東アジア・内陸アジア）	○			○	a：同時期の諸地域との交流や関連を意識し、諸文明の形成や発展の過程を関心を持って学習することができる。地域独自の文化や宗教を比較しながら、現代尾のつながりを意識して学習することができる。 b：諸地域のタテ・ヨコのつながりを多角的に考察し、文章にまとめることができる。地理的なつながりについて、地図を作成した上で考察し、レポートを作成することができる。 c：教科書に掲載されている地図や諸資料を適切に活用することができる。 d：諸地域の地理的特質を把握し、文明の成立過程、国家形成の過程、衰退の過程を理解することができる。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

	イスラーム世界	イスラーム世界成立の背景とその特質，アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。また、ムスリムの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解する。	○		○	○	a: ムハンマドの活動やイスラーム教の特質について，関心を持って学習しようとしている。イスラーム帝国の統治システムについて，関心を持って学習しようとしている。イスラーム世界の分裂と変容の過程について，関心を持って学習しようとしている。ムスリム商人が築いた海域・内陸のネットワークについて，関心を持って学習しようとしている b: イスラーム教の成立を西アジアの情勢や社会的な背景と関連付けて考察し，文章にまとめることができる。イスラーム世界の東方への拡大と西方における変容を，内陸アジア世界やヨーロッパ世界の動向と関連付けて考察し，文章にまとめることができる。 c：教科書に掲載されている地図や諸資料を適切に活用することができる。 d：イスラーム世界成立の背景とその特質，アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解することができる。ムスリムの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解することができる。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

2学期	中世ヨーロッパ世界の形成と発展	地中海世界解体後，ヨーロッパ世界が東西に分かれ，ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは，外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。	○			○	a:西ヨーロッパの中世都市の発展や封建社会の変容過程を，関心を持って学習することができる。中世西ヨーロッパ諸国の政治・社会の動向について，関心を持って学習することができる。中世文化の特色とキリスト教会の果たした役割について関心を持って学習することができる。 b: 諸地域のつながりを多角的に考察し、文章にまとめることができる。地理的なつながりについて、地図を作成した上で考察し、レポートを作成することができる。 c: 教科書に掲載されている地図や諸資料を適切に活用することができる。 d: 地中海世界解体後，ヨーロッパ世界が東西に分かれ，ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは，外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解することができる。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題
	内陸アジア・東アジアの展開	遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替など、社会や文化の特色を理解する。モンゴル帝国の興亡と，その活動が日本を含む諸地域世界にあたえた影響の大きさを理解する。	○	○		○	a: 中国周辺諸国の変化，発展について関心を持って学習することができる。 b: 中国周辺諸国の独自の文化形成，遊牧諸国家の支配体制の特徴，東アジア文化圏の統合力の変化という視点から考察し，文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されている地図や諸資料を適切に活用することができる。 d: 遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替など、社会や文化の特色を理解することができる。 モンゴル帝国の興亡と，その活動が日本を含む諸地域世界にあたえた影響の大きさを理解することができる。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

	東アジア世界の動向	中華帝国を再現した明朝の動向とともに，朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。 清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに，東アジア世界の動向を理解する。	○	○			a：明朝の経済的繁栄と銀経済の進展，科学技術への関心を特色とする文化活動について，関心を持って学習することができる。鎖国体制をとった日本の対外関係の実態を考察することができる。 b：清朝と周辺諸地域との関係の変化を，東南アジアの状況やヨーロッパ勢力の活動と関連付けて考察し，文章にまとめることができる。 c：教科書に掲載されている地図や諸資料を適切に活用することができる。 d：中華帝国を再現した明朝の動向とともに，朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解することができる。清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに，東アジア世界の動向を理解することができる。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

	近世ヨーロッパ世界の展開	17～18 世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を，重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。 ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。		○		○	a:アジア市場とアメリカの植民地をめぐるヨーロッパ諸国の抗争の過程と，三角貿易のもたらした国際的な社会・経済の変化について，関心を持って学習しようとしている。 b: 17～18 世紀のヨーロッパ諸国の活発な経済活動と植民地争奪戦争を，重商主義と関連づけて考察し，文章にまとめる。 C: 教科書に掲載されている 17 世紀半ばのヨーロッパ諸国の植民地をあらわした地図，社会風俗の図版などを適切に活用している。 d: 西ヨーロッパ諸国の経済活動と植民地争奪戦争の状況，その結果としてアメリカ・アフリカを巻き込んだ大西洋世界に近代分業システムが成立したことに関して，基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	イギリス産業革命の背景と展開，産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。 アメリカ独立革命の経過と，独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。 アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。	○		○		a:産業革命の世界史的背景，技術革新や交通革命の進展と波及について，関心を持って学習しようとしている。 b: 資本主義体制の確立と社会の変容について，社会問題・労働問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されている産業革命期の地図や図版，都市の人口増を示す表などの諸資料を適切に活用している。 d: 産業革命が最初にイギリスに起こった理由，繊維部門の技術革新と交通機関の改良，資本主義体制が世界市場に与えた影響などに関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

	欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立と，その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。 クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編，イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程，ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解する。			○	○	a:ロシアの南下政策とそれに伴うヨーロッパ列強の対立，イタリア・ドイツの統一の背景や過程について，関心を持って学習しようとしている。 b:1848 年革命を，ヨーロッパの「大衆貧困」といった社会問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されているイタリアとドイツの統一，ベルリン会議後のバルカン半島といった地図や，写真・図版などを適切に活用している。 d: フランスの革命運動を中心に，ウィーン体制を崩壊させたヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義的な政治改革の動向に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題
	アジア諸地域の動揺	インドの植民地化とその社会の変貌，東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。 ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革，日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。		○		○	a:ムガル帝国の解体と東南アジアの植民地化について，関心を持って学習しようとしている。 b: 日本の明治維新とその後のヨーロッパ文明の導入による近代化がアジア諸国に与えた影響について考察し，文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されているインド・東南アジアの植民地化を示す地図，図版や写真などの諸資料を適切に活用している。 d: 日本と清朝の朝鮮をめぐる対立が激化し，日清戦争がおこる過程に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

3学期	帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。 帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と，従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。	○	○			a:欧米列強では軍事力の強化がはかられる一方で労働運動が高まりを見せるなど，国内の緊張が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 b: 経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が，世界各地の社会の変容に与えた影響について考察し，文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されているアフリカ・アジア・太平洋地域の関連地図，同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d: 列強の二極分化の過程とバルカン半島をめぐる危機の高まりに関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

	二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし，20 世紀の変動の基点となったことを理解する。 世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から，国際的な緊張が高まる時代を理解する。 第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大，米ソの国際的地位の高まりを理解する。	○	○	○	○	a：第一次世界大戦勃発の経緯，戦時外交と総力戦の性格について，関心を持って学習しようとしている。第二次世界大戦の開戦に至る経過，戦争の拡大と戦場の広域化，核兵器などの大量破壊兵器の被害などを，関心を持って学習しようとしている。 b：第二次世界大戦の持っていた複合的で複雑な性格を戦後の国際社会の方向性と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているヨーロッパ戦線や太平洋戦争の地図，図版・写真などを適切に活用している。 d：ヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点と，アメリカの繁栄，ソ連邦の社会主義建設といった欧米諸国の動向に関して，基本的な知識を身につけている。第二次世界大戦におけるヨーロッパから太平洋に至る戦場の広域化，強制収容所の建設や核兵器の使用といった残虐行為など，戦争の惨禍に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

	冷戦と第三世界の独立　現在の世界	・第二次世界大戦後，米・ソを中心とした冷戦体制が成立し，東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 ・東欧社会主義圏の消滅，ソ連邦の解体と民族紛争，グローバル経済の進展を理解する。 帝国主義の時代からグローバル化した「地球世界」が成立した現代までの歴史を再確認し，その課題から 21 世紀の世界を展望する。	○	○	○	○	a: アジア諸地域の独立と建国時の困難さに関して，関心を持って学習しようとしている。新たな地域紛争の頻発，経済格差や深刻化する貧困問題など，現代の諸地域世界の情勢について関心を持って学習しようとしている。 b: 地球環境の破壊といった現代文明の危機を多角的に考察し，「多文化主義」や「共生」といった思想を探究し，文章にまとめる。 c: 現代史を考察する際に，地球温暖化や環境破壊，エネルギー資源の枯渇など，人類が協力して取り組まなければならない問題の統計や資料を適切に活用している。 d: 帝国主義の時代からグローバル化した「地球世界」が成立した現代までの歴史に関する基本的な知識を身につけ，その課題から 21 世紀の世界を展望することができる。	・定期考査 ・課題レポート ・発表 ・発問評価 ・授業態度の観察 ・提出課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。